

「山の日」をつくろう栃木県連絡協議会 設立趣意書

我が国は、国土の7割を山が占めており、山の豊かな森林は、国土の保全、水資源の涵養など国民生活に不可欠な機能を有しています。

また、国民は、古来より山を身近な自然として親しむとともに、その生活の中で伝統文化や産業を育んできており、山は林業のみならず観光などの貴重な資源であります。

本県も、日光連山や那須連山などを有しており、農林業はもとより、全国に誇る四季折々の美しい景観など、山の恵みを基盤として地域産業や文化が育まれてきました。

こうした山のもたらす様々な恩恵を将来にわたり享受できるよう、国民全体が山に感謝し、山を守り育てていくための意識の向上を促すためには全国統一の「山の日」の制定が望まれます。

そのため、県内でも「山の日」制定に向けた機運醸成の一端を担い、全国統一の「山の日」が早期に制定されるよう協議会を設立し、県民運動として推進していこうとするものです。